

朝鮮史研究会 第45回大会

日時 2008年10月25日(土)・26日(日)

参加費 1000円

会場 佛教大学

(JR京都駅から地下鉄烏丸線・北大路駅下車、市営バス「佛教大学前」)

【第1日】10月25日(土)14:00～(受付13:30～) 於・成徳常照館 5階 常照ホール

講演

「戦後の在日朝鮮人運動を顧みる—大阪における体験を踏まえて」 梁 永厚 氏
 「人類学と朝鮮社会史 — 個人的越境の体験」 嶋陸奥彦 氏

総会 (会員のみ) / 懇親会 於・佛教大学食堂 (別途参加費必要)

【第2日】10月26日(日) 9:30～(受付9:00～)

【午前】 パネル

9:30～12:00 於・2号館 201、202、203

- | | |
|-------------|---|
| ①
2号館201 | 「朝鮮古蹟調査事業研究の新展開」 |
| | 「植民地期朝鮮における古蹟と地域社会」 太田秀春氏 |
| | 「朝鮮総督府建造物修理事業史研究の
アクチュアリティ」 清水重敦氏 |
| | 「朝鮮古蹟保護政策の展開過程」 広瀬繁明氏 |
| ②
2号館202 | 「併合前夜の大韓帝国—その内政と外交」 |
| | 「大韓帝国史研究の課題と展望」 月脚達彦氏 |
| | 「大韓帝国の内政・外交と韓国皇帝」 原田 環氏 |
| | 「官僚人事に見る大韓帝国と韓国統監府」 永島広紀氏 |
| ③
2号館203 | 「フィールドワークと歴史研究—
人類学と歴史学の対話から見えてくるもの」 |
| | 「フィールドの現実と歴史
—韓国南原でのフィールドワークから」 本田 洋氏 |
| | 「自叙伝とフィールドの間
—安眠島麻生商店をめぐる人々」 鈴木文子氏 |
| | 「元在朝日本人教員への聞き取り調査から見えて
きたもの—教育政策と現場との間」 本間千景氏
コメンテーター 木村健二氏 |

【午後】 全体会

13:00～18:00 於・成徳常照館 5階 常照ホール

統一テーマ

解放と分断を問い直す — 1948年前後史

報告

- 「1948年前後における済州島民衆の運動」 村上 尚子氏
 「大韓民国建国初期におけるファシスト勢力の形成と没落—いわゆる「族青系」を中心に」 藤井たけし氏
 「初期北朝鮮文壇の形成過程について」 布袋 敏博氏
 「敗戦後日本における在日朝鮮人管理体制の形成(1945～49)—朝連・民青解散問題を中心に」 鄭 栄 桓氏

総合討論



会場案内

各パネル、全体会の統一テーマおよび各報告の趣旨文をホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

